

平成 24 年 3 月

審判員講習資料



KBBL

4人制クロックワイズメカニクス

柏市少年野球連盟

柏市少年野球連盟審判部監修

◇ 最初に。

1. 審判員として。

- 試合中は、審判員に徹する事。……………選手を指導する言動は厳禁。(プレイに公平であること)
- 二日酔いや、体調が悪い時には担当しないこと。(正常なジャッジは出来ない。)
- 試合中は疲れていても爽やかな姿勢をしなさい(周囲は審判員を見ている)。
- 常にきびきびとした行動をとること。
- 常に「野球規則」を学習すること。(野球の本質：フェアであるべき野球を考えること。)
- プロ野球の真似はしない。アマチュア野球の基本に忠実に。
- 試合(人のプレイ)を裁くのだから、自分がきちんと自覚と責任を持たなければ。
- ベンチ等からクレームが出る原因は？(ジャッジのタイミング、ジャッジまでの姿勢、ポジション…他)

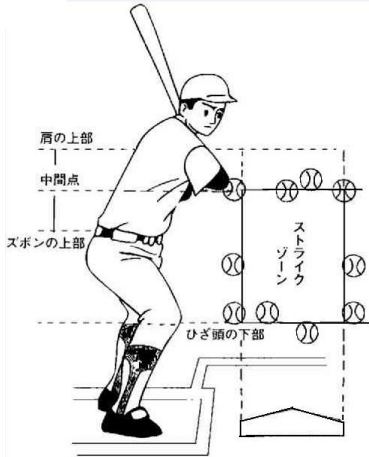
2. 判定(ジャッジ)

- アウト、セーフのジャッジは、ベストのポジションで、事実を確認して、慌てずに、急がずに。
- 自分では格好良いジャッジと思っているでも、はたから見ると、みっともないもの。
- 予測やタイミングでのジャッジは厳禁!
- ジャッジの後も、常にボールから目を離さない。(ボールの有る所にプレイが有る。)
- プレイは続く。次々と起こるプレイを予測する意識と行動を!
- タッチアップ! しっかりとしたポジションでのジャッジでなければ信用されない。

- ◇ 本資料の「4人制審判員の動き方等」は、「審判メカニクスハンドブック第3版」(2009.全日本野球会議審判技術委員会)を参考に編集しています。

編集 柏市少年野球連盟審判部

◇ ストライクゾーン



【野球規則】

◇〈2・7・3〉

- ・打者の肩の上部とユニホームのスポンの上部との中間点に引いた水平のラインを上限とし、膝頭の下部のラインを下限とする本塁上の空間をいう。

(投手寄りの足の膝頭を基準：千葉県高野連指導)

- (注1) 打者が投球を打つための姿勢で決定される。打つための姿勢とは、打者が踏み出して打とうとする時の姿勢を言う。

◇〈2・7・2〉

- ・打者が打たなかった投球のうち、ボールの一部分がゾーンのどの部分でもインフライトの状態通過したもの。

◇ 4人制審判の取り決め事項

1. ポジショニング

- (1) 2塁塁審 : 走者無し、走者3塁の時 2塁塁審は、2塁ベース後方(「外」)に位置する。
 : 走者1塁、2塁、1・2塁、1・3塁、2・3塁、満塁の時は、1・2塁間、または2・3塁間の内野(「中」)に位置する。(内野手が前進守備で邪魔になる場合は、「外」に位置する。)
- (2) 1塁塁審、3塁塁審はいずれの場合もファールラインの外側に立つが、3塁に走者がいる場合、3塁塁審はラインを跨いでもよい(打者のスイング確認のため)。

2. 外野への打球の責任範囲(塁審)

A. 2塁塁審が「外」に位置した時。

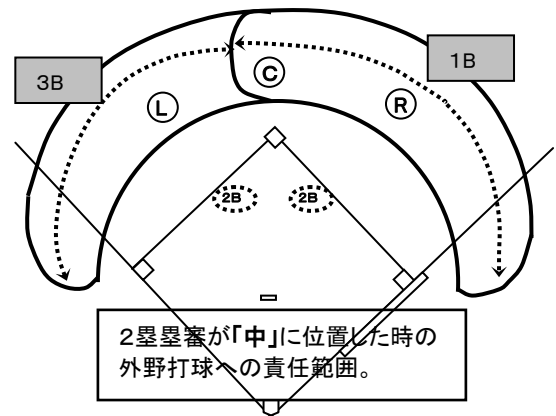
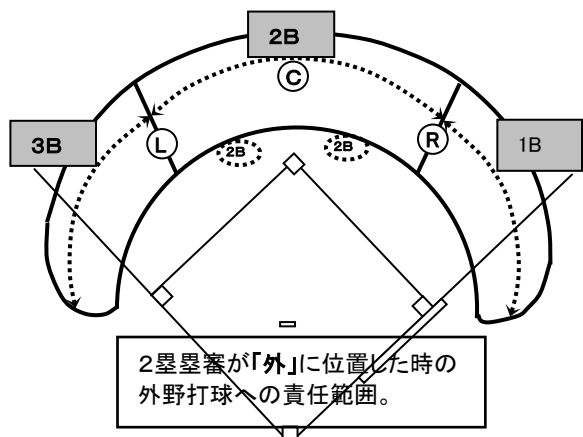
- (1) 左翼手より向かって左側の打球 3塁塁審
 (2) 左翼手正面の前後から右翼手正面の前後までの打球 2塁塁審
 (3) 右翼手から向かって右側の打球 1塁塁審

B. 2塁塁審が「中」に位置した場合・・・2塁塁審は外野への打球は追わない。(責任は持たない。)

- (1) 中堅手より向かって左側の打球 3塁塁審
 (2) 中堅手付近(高野連指導・県少年野球連盟指導)から右側の打球。 1塁塁審

C. 外野への打球を追った塁審は打球を確認した後、その場に留まり(ステイアウト)、担当していた塁は他の審判に任せる。

カバーに行った審判は、その審判(追った塁審)が戻るまでその塁を離れてはいけない(引継ぎをする)。



3. 「球審」の動き

- (1) 走者無し、走者1塁の場合は3塁をカバーする動き方がある。
 (2) 走者が2塁または3塁(スコアリングポジション)にいる時は、原則として本塁にとどまる(ステイ)。

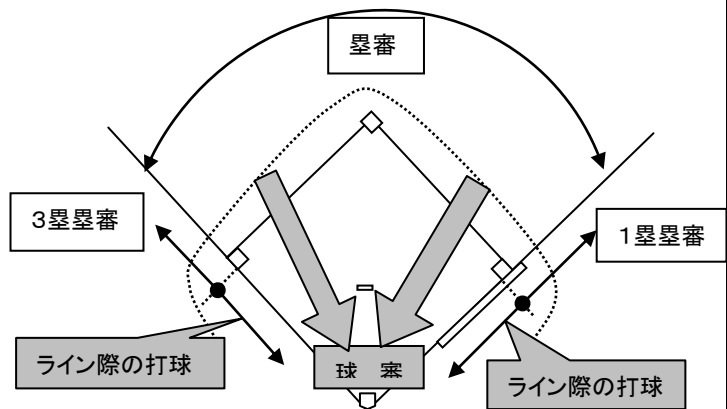
◇ 審判上の基本的な取決め事項

1. 球審のジャッジ責任範囲
 - ア. 内野内への打球
 - イ. 1, 3塁ベースまでのライン際への打球
 - ウ. 1, 3塁ベース及び内野手に触れた打球
 - エ. 内野フライ、内野ライナー。
2. 1塁塁審のジャッジ責任範囲
 - ア. 1塁ベースを含む以遠のライン際の打球。
 - イ. 外野方向のファール飛球。
3. 3塁塁審のジャッジ責任範囲
 - ア. 3塁ベースを含む以遠のライン際の打球。
 - イ. 外野方向のファール飛球。
4. 注)・ファールフライは捕球した野手に近い審判員が宣告する。…然し、捕球の確保、或いは際どい落球等を確認できる位置に動いてジャッジすること。

基本(取決め)…異なる2つのジャッジをしないため。

外野へのトラブルボールは追って確認する。(塁審の責任)

1. 右翼線または左翼線寄りの打球
2. 外野手が前進して地面すれすれで捕る打球
3. 外野手が背走するフェンス際の打球
4. 外野手が集まる打球



◇ 塁審の立つ位置

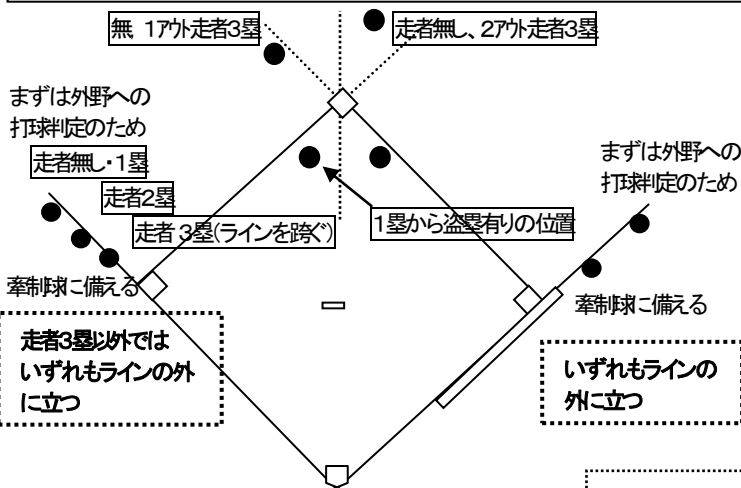
凡例 ● 審判員 ★ 走者

2塁塁審: 走者無し、走者3塁の場合は「外」(いずれの位置でも良い)
: 上記以外では、「中」とするが、走者満塁、1・3塁、2・3塁で内野手が前進守備の場合は「外: 1・2塁線後方」に位置しても良い。
注意! 「中」では本塁に正対し、決してしゃがみこまないこと!

【走者なし、内野への打球】

2塁塁審は、打球、送球を観ながら「中」に入る準備をする。
打球、送球を見ながら送球に対して直角の位置へ移動してジャッジする。

球審はライン際の打球はラインを跨いで、或いは本塁後方でラインを中心に位置して確認ジャッジ。
球審は打者走者のスリーフットレンドの違反がないか確認し、1塁でのジャッジをサポートする。



信頼される行動(位置、角度)を!



【審判メカニクス第3版】
(4人制審判)

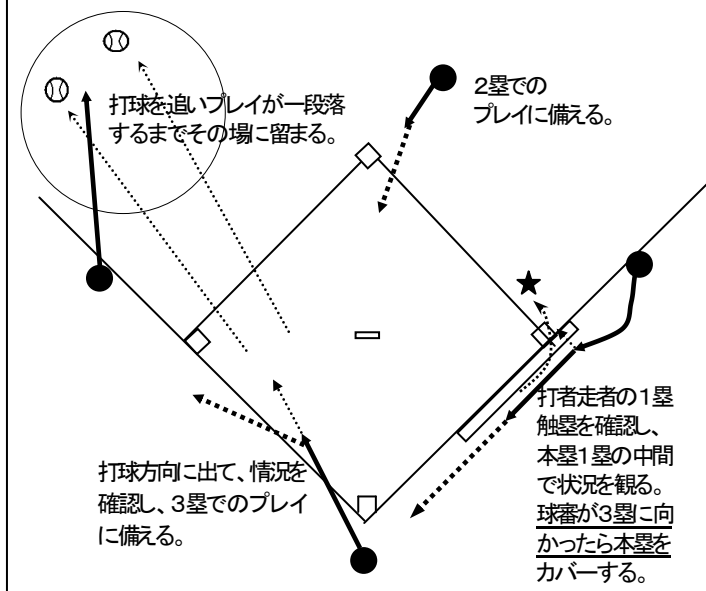
クロックワイズメカニクス

平成24年3月
柏市少年野球連盟編集
全日本野球会議審判技術委員会参照

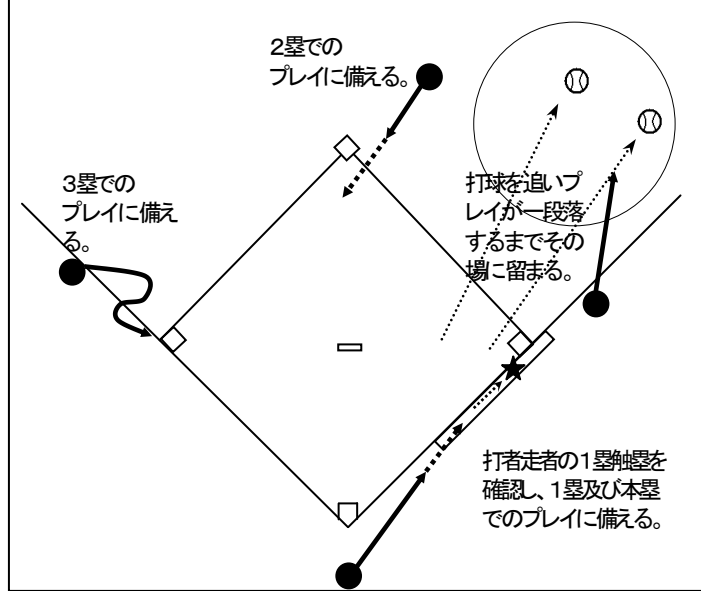
【4人制クロックワイズメカニクス】

- ◇ ポイント ・2塁塁審は「外」
・走者無し、3塁の時
・内野手の前進守備時には、「外」も良い。
(1・3塁、2・3塁、満塁の時)
- ◇ ポイント ・2塁審が「中」に入る。
・走者1塁、2塁、1・2塁、1・3塁、2、3塁満塁の時
- ◇ スコアリングポジションに走者がいる場合は
球審は本塁から動かない。
走者3塁、3塁塁審が外野打球を追った場合で、球審は3塁走者のタグアップを確認し、本塁でのプレイに備える。
- ◇ 塁審は外野へのトラブルボールを追ったら、プレイが到着するまでそこに留まっている。(ステイ)

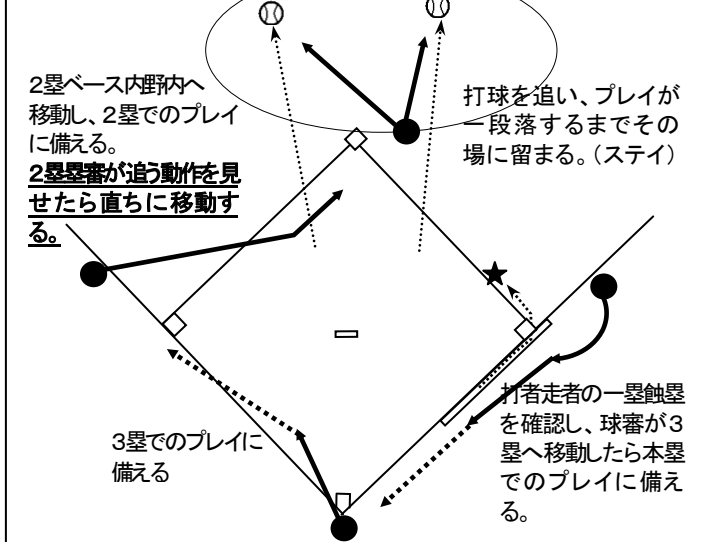
①【走者無し】左翼手より左の打球を3塁塁審が追った場合



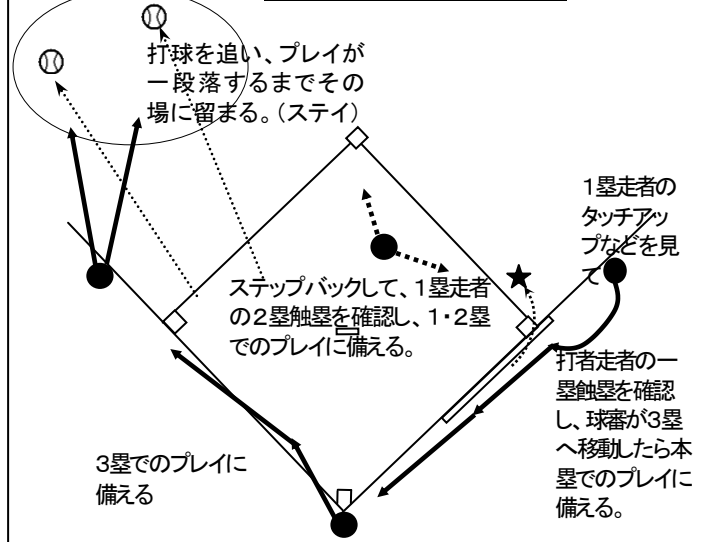
②【走者無し】右翼手より右の打球を1塁塁審が追った場合



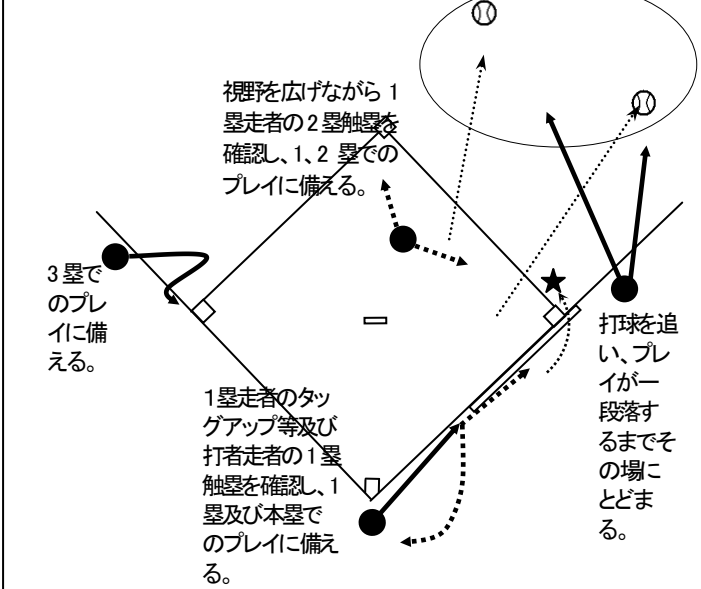
③【走者なし】左翼手から右翼手までの打球を2塁塁審が追った場合(2塁でのプレイが生じると思われる場合)



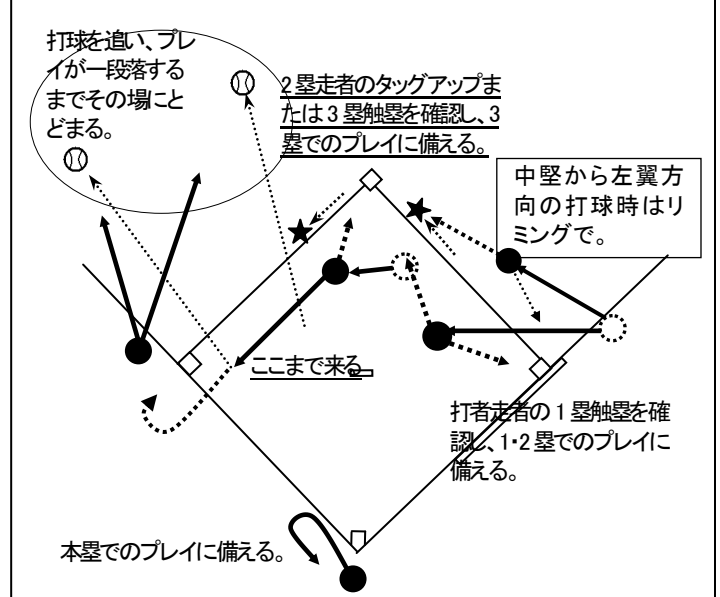
④【走者1塁】中堅手より左側の打球を3塁塁審が追った場合。
(球審が3塁に向かった場合。)



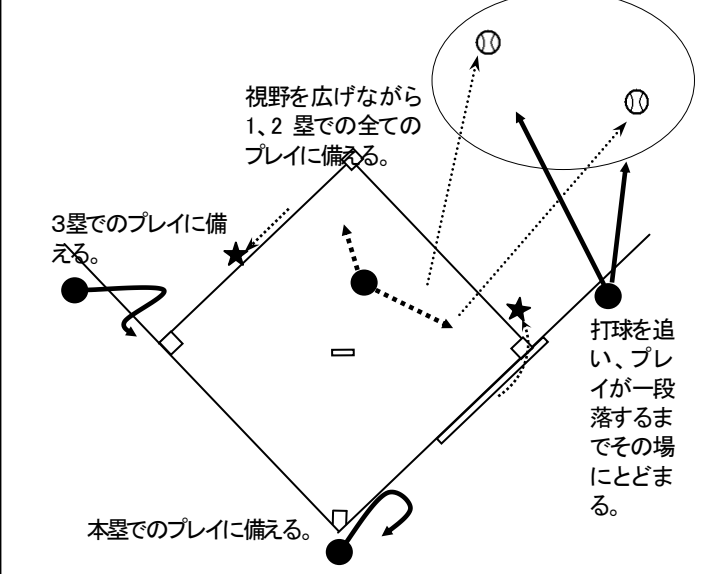
⑤【走者1塁】 中堅手より右側の打球を1塁塁審が追った場合



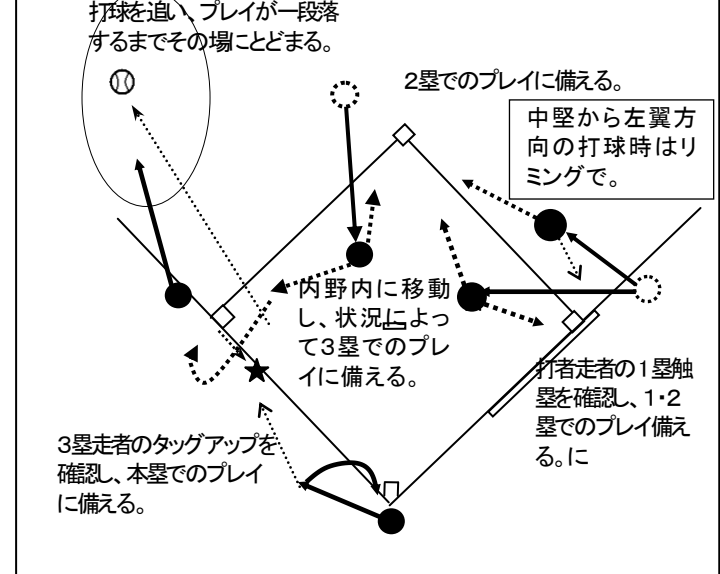
⑥【走者2塁】 中堅手より左側の打球を3塁塁審が追った場合



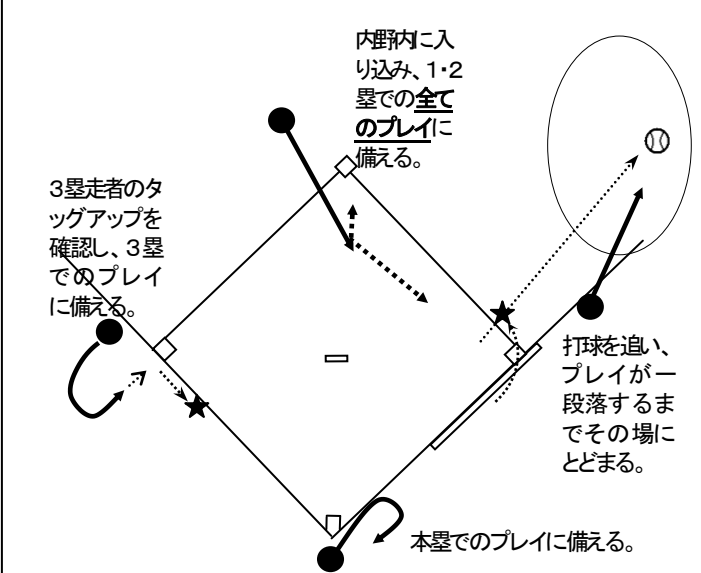
⑦【走者2塁】 中堅手より右側の打球を1塁塁審が追った場合



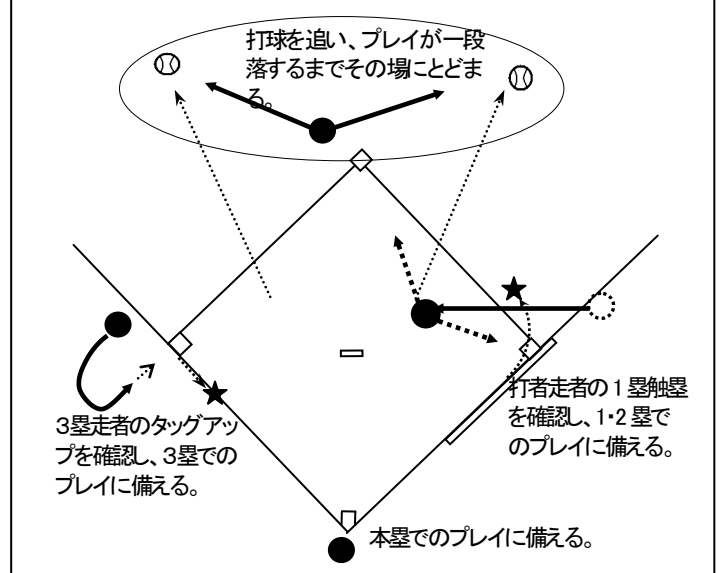
⑧【走者3塁】 左翼手よりライン寄りの打球を3塁塁審が追った場合



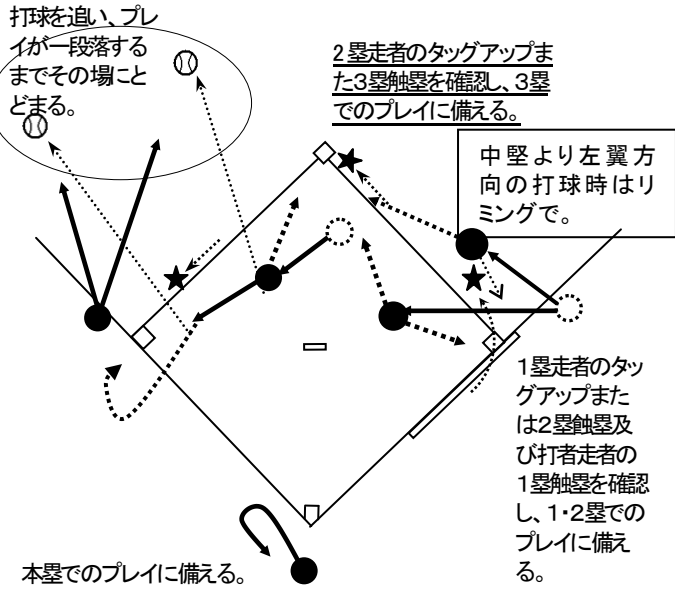
⑨【走者3塁】 右翼手よりライン寄りの打球を1塁塁審が追った場合



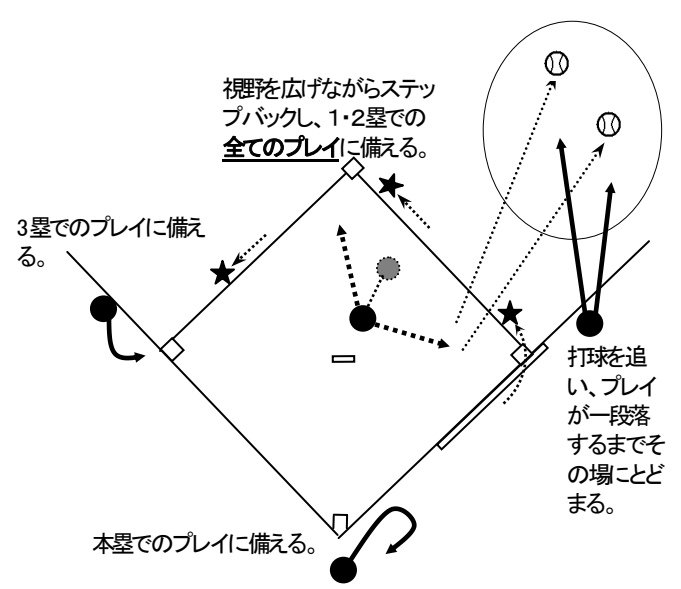
⑩【走者3塁】 左翼手から右翼手までの打球を2塁塁審が追った場合



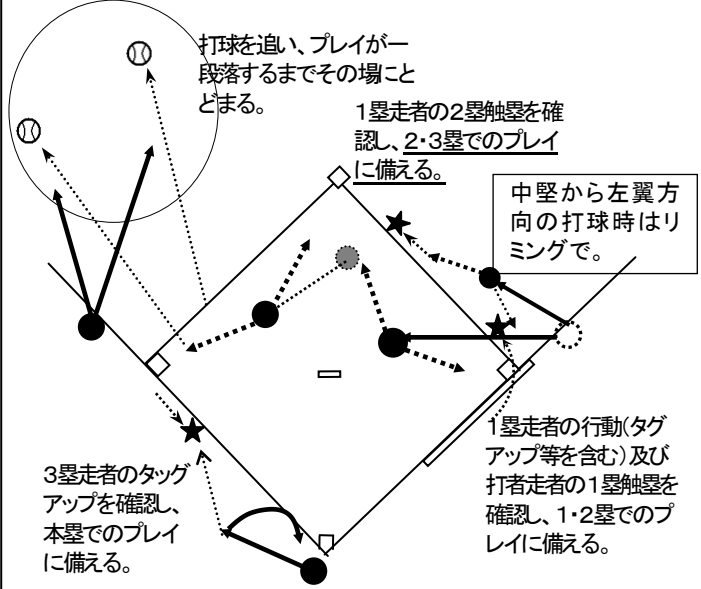
⑪【走者1・2塁】 中堅手より左側の打球を3塁塁審が追った場合



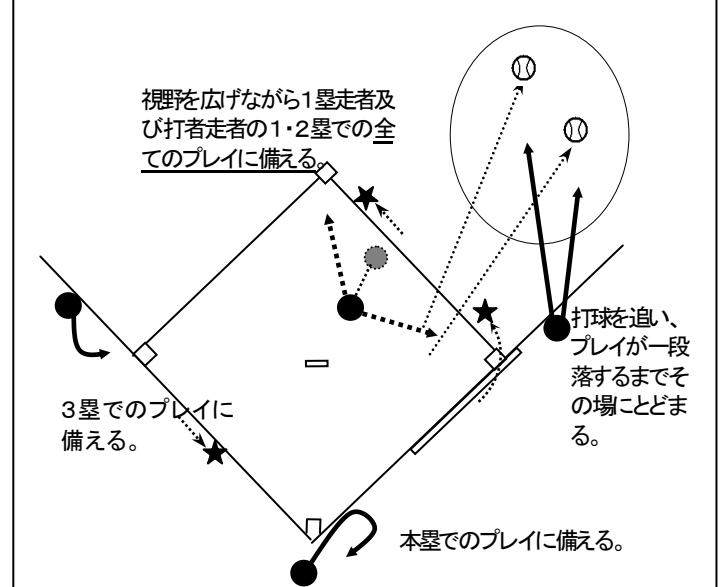
⑫【走者1・2塁】 中堅手より右側の打球を1塁塁審が追った場合



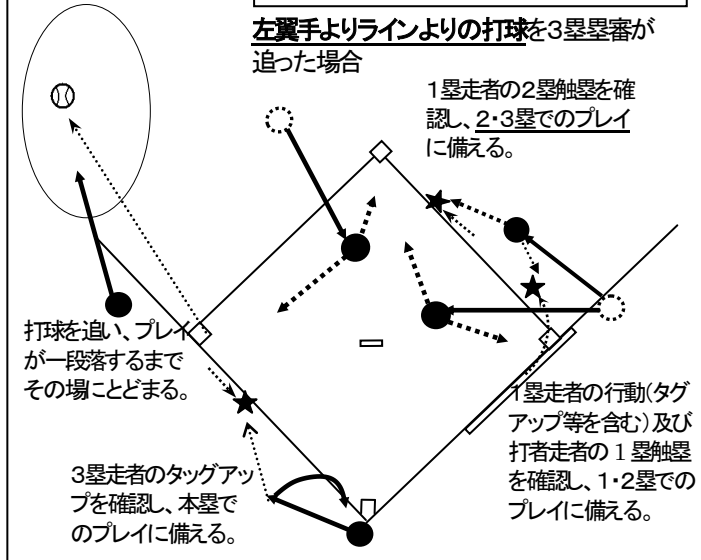
⑬【走者1・3塁】 中堅手より左側の打球を3塁塁審が追った場合



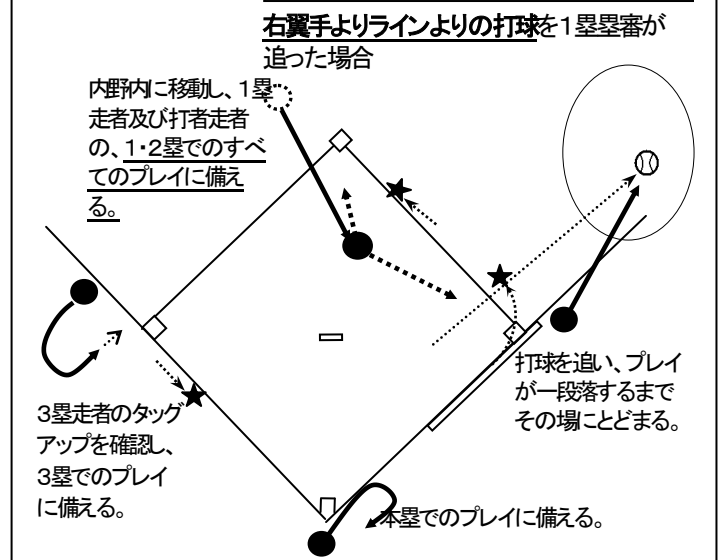
⑭【走者1・3塁】 中堅手より右側の打球を1塁塁審が追った場合



⑮【走者1・3塁】 2塁塁審が外側に位置した場合および内野手が前進守備の場合 左翼手よりラインよりの打球を3塁塁審が追った場合



⑯【走者1・3塁】 2塁塁審が外側に位置した場合および内野手が前進守備の場合 右翼手よりラインよりの打球を1塁塁審が追った場合



⑰【走者1・3塁】 2塁塁審が外側に位置した場合および内野手が前進守備の場合

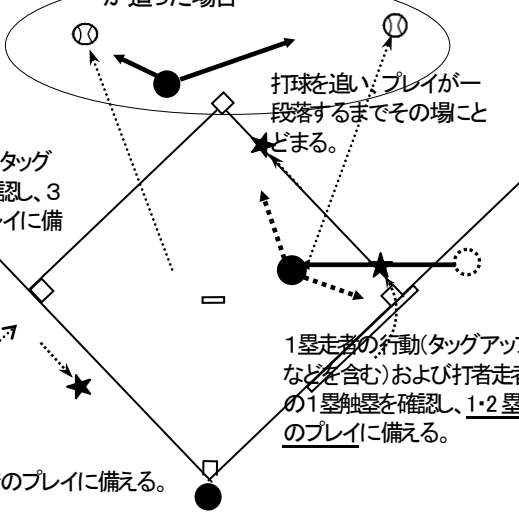
左翼手から右翼手までの打球を2塁塁審が追った場合

3塁走者のタッグアップを確認し、3塁でのプレイに備える。

打球を追い、プレイが一段落するまでその場にとどまる。

1塁走者の行動(タッグアップなどを含む)および打者走者の1塁触塁を確認し、1・2塁でのプレイに備える。

本塁でのプレイに備える。



⑱【走者2・3塁】 2塁塁審が内側に位置した場合

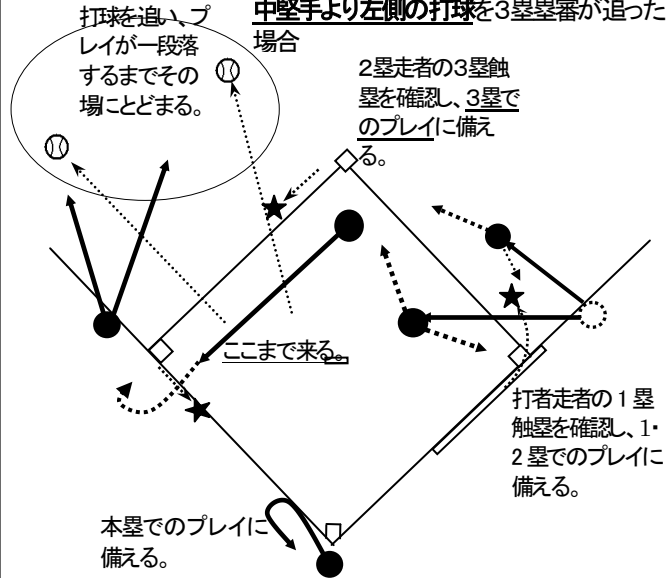
中堅手より左側の打球を3塁塁審が追った場合

打球を追い、プレイが一段落するまでその場にとどまる。

2塁走者の3塁触塁を確認し、3塁でのプレイに備える。

打者走者の1塁触塁を確認し、1・2塁でのプレイに備える。

本塁でのプレイに備える。



⑲【走者2・3塁】 2塁塁審が内側に位置した場合

中堅手より左側の打球を3塁塁審が追った場合。(走者がタッグアップした場合)

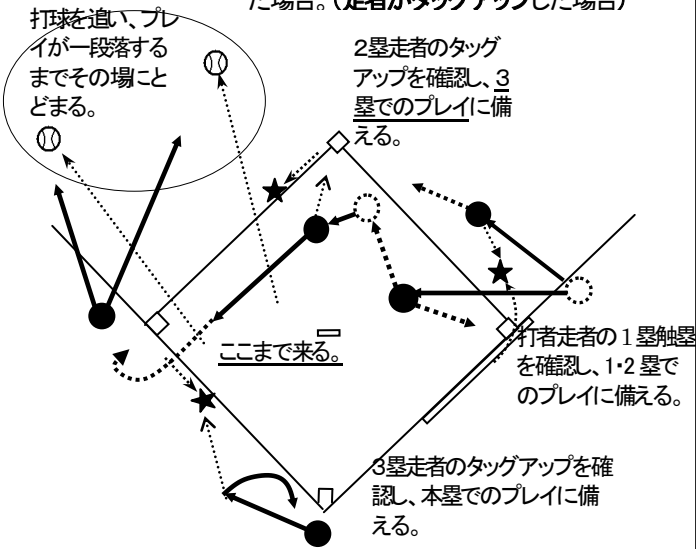
打球を追い、プレイが一段落するまでその場にとどまる。

2塁走者のタッグアップを確認し、3塁でのプレイに備える。

打者走者の1塁触塁を確認し、1・2塁でのプレイに備える。

3塁走者のタッグアップを確認し、本塁でのプレイに備える。

ここまで来る。



⑳【走者2・3塁】 2塁塁審が内側に位置した場合

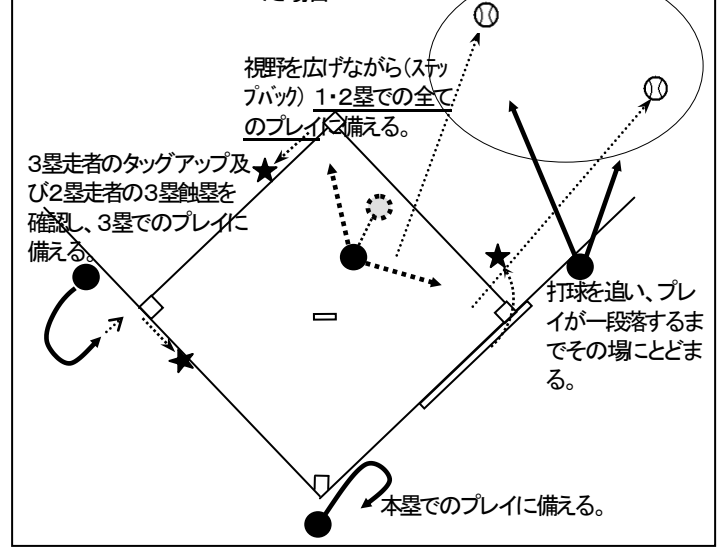
中堅手より右側の打球を1塁塁審が追った場合

視界を広げながら(ステップバック)1・2塁での全てのプレイに備える。

3塁走者のタッグアップ及び2塁走者の3塁触塁を確認し、3塁でのプレイに備える。

打球を追い、プレイが一段落するまでその場にとどまる。

本塁でのプレイに備える。



㉑【走者2・3 2塁塁審が外側に位置した場合及び内野手が前進守備の場合

左翼手よりライン寄りの打球を3塁塁審が追った場合

走者2・3塁の場合は常に2塁塁審は外側に位置する。(H19年県指導)

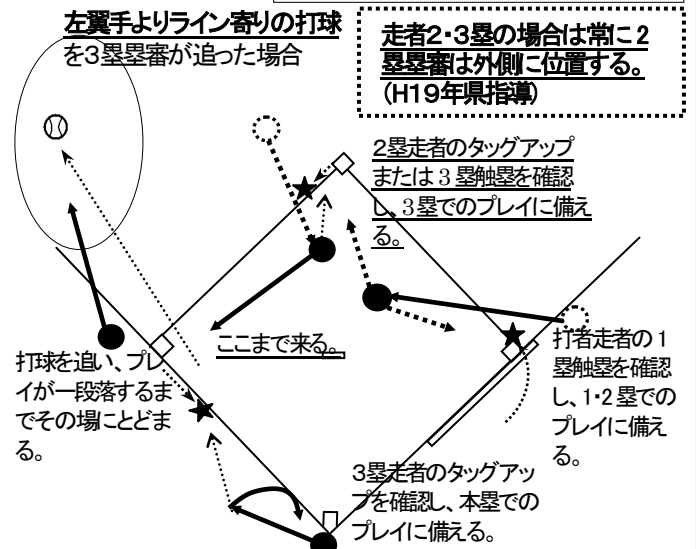
2塁走者のタッグアップまたは3塁触塁を確認し、3塁でのプレイに備える。

打者走者の1塁触塁を確認し、1・2塁でのプレイに備える。

3塁走者のタッグアップを確認し、本塁でのプレイに備える。

打球を追い、プレイが一段落するまでその場にとどまる。

ここまで来る。



㉒【走者2・3塁】 2塁塁審が外側に位置した場合及び内野手が前進守備の場合

右翼手よりライン寄りの打球を1塁塁審が追った場合。

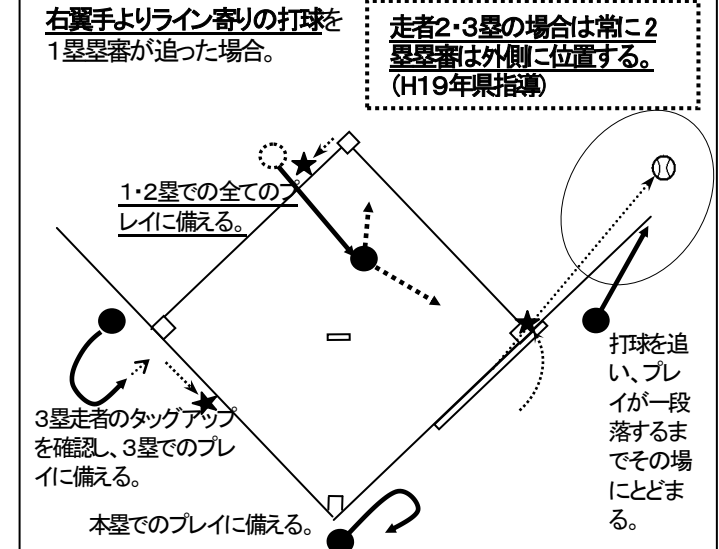
走者2・3塁の場合は常に2塁塁審は外側に位置する。(H19年県指導)

1・2塁での全てのプレイに備える。

3塁走者のタッグアップを確認し、3塁でのプレイに備える。

本塁でのプレイに備える。

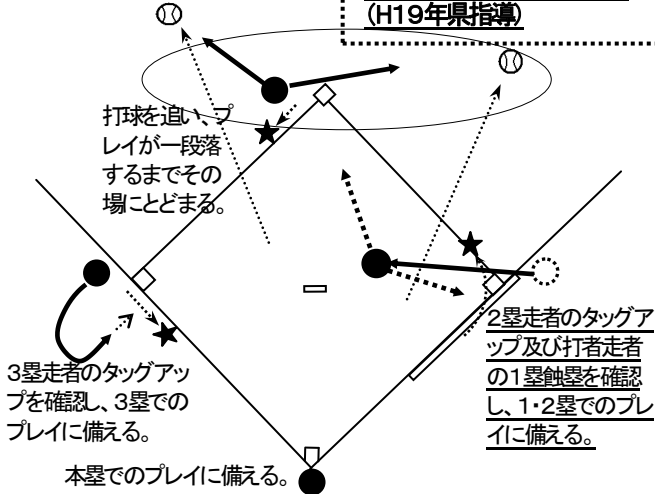
打球を追い、プレイが一段落するまでその場にとどまる。



⑳【走者2・3塁】 2塁塁審が外側に位置した場合及び内野手が前進守備の場合

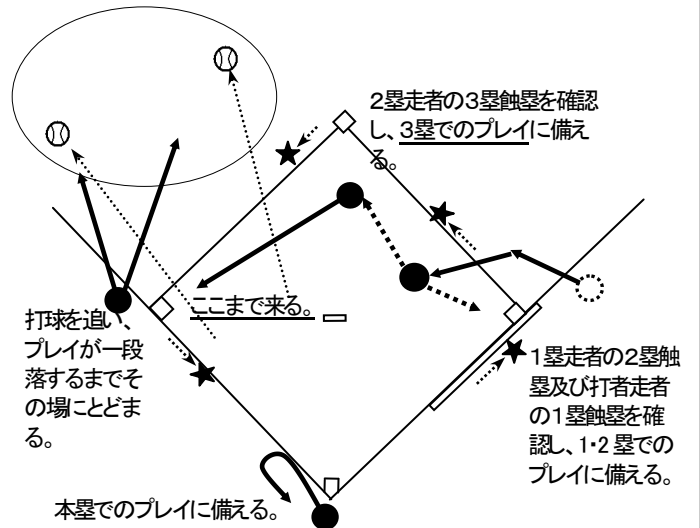
左翼手から右翼手までの打球を追った場合。

走者2・3塁の場合は常に2塁塁審は外側に位置する。
(H19年県指導)



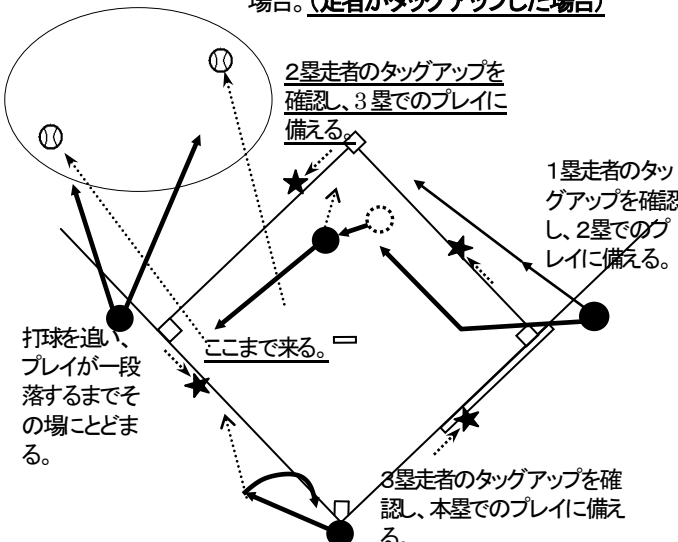
㉑【走者満塁】 2塁塁審が内側に位置した場合

中堅手より左側の打球を3塁塁審が追った場合。



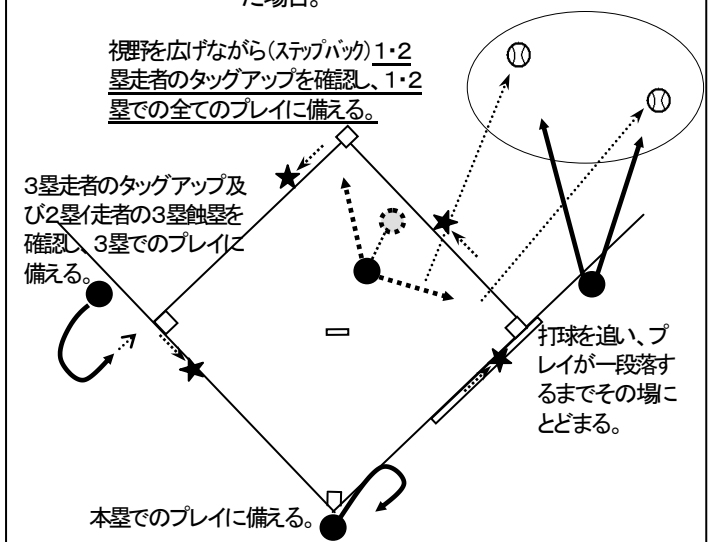
㉒【走者満塁】 2塁塁審が内側に位置した場合

中堅手より左側の打球を3塁塁審が追った場合。(走者がタッグアップした場合)



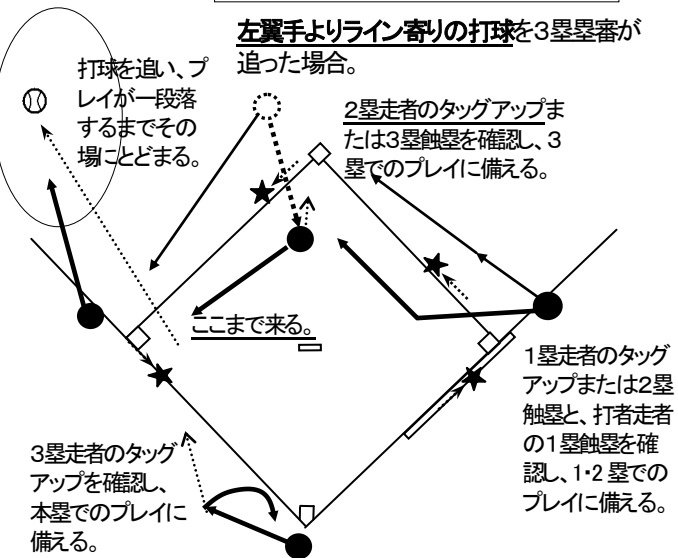
㉓【走者満塁】 2塁塁審が内側に位置した場合

中堅手より右側の打球を1塁塁審が追った場合。



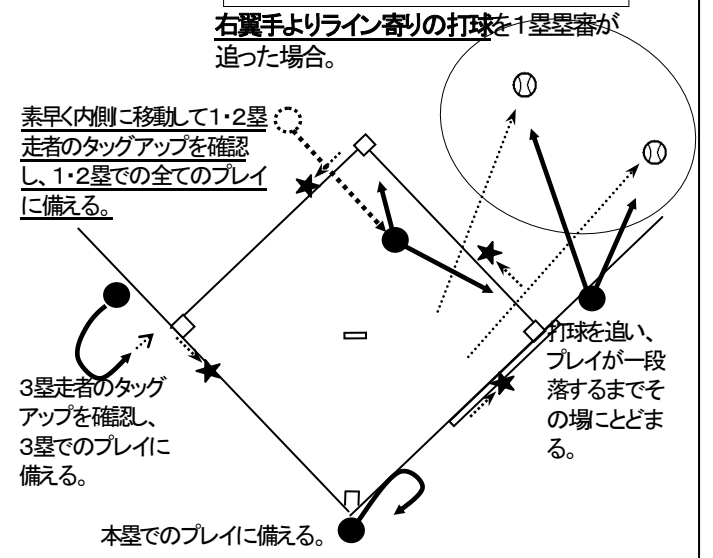
㉔【走者満塁】 2塁塁審が外側に位置した場合及び内野手が前進守備の場合。

左翼手よりライン寄りの打球を3塁塁審が追った場合。



㉕【走者満塁】 2塁塁審が外側に位置した場合及び内野手が前進守備の場合。

右翼手よりライン寄りの打球を1塁塁審が追った場合。



②【走者満塁】 左翼手から右翼手までの打球を2塁塁審が追った場合。

